

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	柔道整復術の適応	講義	2	30	柔道整復学(理論・実技) 解剖学・生理学
学科 ・ 学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 3年	深澤 進次	☐ 有 ☒ 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
医療現場において、適正な病態の把握は、診断、治療に密接し、その後の身体活動、日常生活活動に大きな影響を与える。 そのために、医療における知識と技術の向上をはかり、適正な病態の把握ができるようにする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
整形外科学や一般臨床医学また、外科学等の教科が、関連することを理解し臨床に応用とすることをめざす。					
教科書・参考書					
教科書： 全国柔道整復学校協会： 「医療の中の柔道整復」 ・「解剖学」・「生理学」等					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 【 受講科目受講時留意点 】※特に記載が無ければ作成時に消去して下さい。 ● プリントに関しては、必ず専用のファイルに綴じて下さい。 ● 万が一休む場合は、必ずプリントをクラスメートに頼んでもらって下さい。(あとで渡すことは一切しません)					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験を行い評価する。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		柔道整復術の適否を考える 損傷に類似した症状を示す疾患①		/	深澤
2		損傷に類似した症状を示す疾患②		/	深澤
3		損傷に類似した症状を示す疾患③		/	深澤
4		損傷に類似した症状を示す疾患④		/	深澤
5		血流障害を伴う損傷		/	深澤
6		末梢神経損傷を伴う損傷		/	深澤
7		脱臼骨折		/	深澤
8		外出血を伴う損傷		/	深澤
9		病的骨折および脱臼		/	深澤
10		意識障害を伴う損傷①		/	深澤

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		意識障害を伴う損傷②		/	深澤
12		脊髄症状のある損傷 呼吸運動障害を伴う損傷		/	深澤
13		内臓損傷の合併が疑われる損傷 高エネルギー外傷		/	深澤
14		定期試験		/	深澤
15		まとめ		/	深澤
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	